

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	権利擁護に関する制度の理解と活用について管理者だけが外部研修を受講し、理解をしているが、職員への研修及び、理解が不十分である。	管理者だけでなく、職員も権利擁護に対し、利用者様や家族様の相談に対応できるように教育の場をもうける。	外部研修を定期的にお願ひし、施設内での勉強会を実施。介護支援専門員の方に協力していただき、7月30日 成年後見人制度の勉強会を実施させていただき、10月18日、虐待についての勉強会を実施させていただき。	12ヶ月
2	2	事業所と地域の拡大について、まだまだ地域の一員としての周辺理解と協力が必要である。	地域交流の更なる拡大と、周辺からの理解が協力が得られるよう取り組みをおこなう。	施設として自治会に加入させていただき、地域の自治体活動に参加させていただき。ボランティア活動も継続しておこなう中で、顔なじみになられたり、地域での活動範囲が広がるよう支援していく。	12ヶ月
3	3	介護計画の毎月アセスメントし、課題やニーズの明確化をおこなっているが、目標達成度が見えにくい。	介護計画の目標達成度を記載していく。	同意書にサインをいただく時に、本人様、家族様、計画作成担当者で、今月の介護計画書についての評価を話す時間をもうけていく。その中で、ニーズを取り入れ、達成度の低い項目に関しては見直し、修正をし、目標を明確化していく。	12ヶ月
4	33	利用者の病状の経過に応じ、本人、家族、医者、管理者と話し合いの場を持ち、経過記録に記載している。	週2回、往診時に家族様が出来る範囲で、立ち会いしていただく。	家族様の不安や、気持ちの変動に医師に直接質問したり、今後の方針についての話をもてる場として、立ち会いをお勧めし、話し合いの場を提供する。記録は今まで通り、継続していく。	12ヶ月
5	35	災害時に備え、非常食や飲料水が用意出来ない。	災害時に備え、体制を整えておく。	入居者様一人一人に、最低限の防災用品を居室管理していただき、非常食、飲料水は必要数を1階倉庫にて備蓄させていただき。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。